



第 15 回 標準処方研究フォーラム

～マンニトールを賦形剤とする標準処方：その1 乳糖標準処方との比較を中心に～

今年度の標準処方研究フォーラムを以下の要領で開催します。

昨年度までテーマとしてきた連続造粒・打錠を一区切りとし、新たなテーマとして注目度の高い賦形剤であるマンニトールを含む標準処方の確立を目指した各種造粒・打錠実験を行い報告します。今回は、研究会で当初行っていた乳糖標準処方の実験も含めて実施し、両者の違いを明確にすることも試みました。また、フォーラムでは、従来通り、パネル口演・展示も募集しています。固形製剤に関わる多くの皆様のご参加をお待ちしています。

と き	令和 6 年 12 月 6 日(金) 10:00～	
と ころ	講演会 にぎたつ会館	〒790-0858 愛媛県松山市道後姫塚 118-2
	交流会 松山大学樋又キャンパス	〒790-8578 愛媛県松山市文京町 4-2
主 催	(一社)粉体工学会 製剤と粒子設計部会	
共 催	(一社)粉体工業技術協会 粒子加工技術分科会	
参 加 費	主催・共催学協会員	¥ 16,500
	大学・公立研究機関関係	¥ 11,000
	学生	¥ 7,700
	非会員	¥ 25,300
	パネル展示	¥ 22,000
	展示を希望される企業様は、口演担当者様の参加登録もお願い致します。	
	※ 全て交流会費含む	
	※ 消費税込み (登録番号 T4130005015191)	
申 込 方 法	ホームページ (http://www.ppd-gifu.com/) の参加申込フォーム、 または左記 QR コードからお申込み下さい	
申 込 締 切	令和 6 年 11 月 28 日 (定員 100 名 定員になり次第締め切らせていただきます)	
問 合 せ 先	粉体工学会製剤と粒子設計部会事務局 松井智代 e-mail matsui-to@gifu-pu.ac.jp ☎ 080-9490-0689	
パ ネ ル 展 示	展示費用	1 ブース ¥22,000 - 3 分程度の製品紹介あり
	募集社数	12 社 (定数になり次第締め切らせていただきます)
	申込方法	参加申込と同様
	申込締切	令和 6 年 11 月 15 日 (金)



ープログラムー

総合司会 中村承平 (松山大)

10:00-10:05	開会の挨拶	竹内洋文 (岐阜薬科大)
10:05-10:35	【解説講演 1】	座長 竹内 洋文
	乳糖標準処方からマンニトール標準処方提案に向けて	山田昌樹 (シミック CMO)
10:35-11:00	【解説講演 2】	座長 市原 駿 (エーザイ)
	D-マンニトールの特長と基礎物性およびグレードの解説	森川瑤子 (三菱商事ライフサイエンス)
11:00-11:45	製品紹介	展示各社
11:45-13:00	昼食 パネル討論	
	【立会実験報告・質疑】	座長 鶴野澤一臣 (フロイント産業) 河津 翔 (アステラス製薬)
13:00-13:20	D-マンニトールと乳糖の流動層造粒における違い	森本泰明 (フロイント産業)
13:20-13:40	D-マンニトールと乳糖の攪拌造粒における違い	田林功至 (パウレック)
13:40-14:00	D-マンニトールと乳糖の押し出し造粒における違い	浅井直親 (ダルトン)
14:00-14:20	3造粒法の造粒物の評価結果	樋口雅治 (旭化成)
		座長 渡邊鉄太郎 (杏林製薬) 武田泰浩 (キッセイ薬品)
14:20-14:40	3造粒法の造粒物の打錠結果と錠剤物性評価結果	星野貴史 (信越化学工業)
14:40-14:50	3造粒に関する質疑応答	立会実験報告講演者
		座長 糸川昌太 (アリナミン製薬)
14:50-15:10	直打用乳糖および直打用マンニトールの打錠性の違いと錠剤物性	伏見伸介 (菊水製作所)
15:10-15:40	コーヒーブレイク・パネル討論	
	【総合討論】	座長 坂本宜俊 (松山大)
15:40-16:30	1) D-マンニトールの標準処方のまとめ	立会実験報告講演者 谷野忠嗣 (シオノギファーマ)
	2) 次年度に向けて	谷野忠嗣 (シオノギファーマ)
16:30-16:35	閉会のあいさつ	砂田久一 (名城大)
16:35-17:20	松山大学樋又キャンパスへ移動(チャーターバス)	
17:20-19:00	交流会	